

りんご高密度植栽培先進地 イタリア 南チロルへ

令和7年
10月12～18日



南チロルのりんご畑を背に

学生が自ら企画した海外研修の実施を支援する県の事業「あおり農業グローバルチャレンジ」に、本校から4名（果樹課程2年3名、1年1名）の学生が応募し、令和7年10月12～18日にイタリア共和国北部の南チロル地方へ海外研修に行きました。

研修では、高密度植栽培のりんご園地3カ所、高密度苗木生産工場、大規模選果施設、りんご等果樹の研究施設及び現地の農業学校などを訪問し、生産性が高い「りんご高密度植栽培」と「スマート農業機械」を用いた省力化などについて幅広く視察しました。

学生達は、先進地のりんご生産や選果技術、研究状況などについて、興味深そうに話を聞いたり、積極的に質問したりと熱心に研修していました。

この研修が、りんご農家として地域のリーダーを目指す彼らにとって、高密度栽培について考えを深め、将来に生かすきっかけになってもらえればと期待します。



大型選果施設



高密度りんご園地



研究施設

〈令和7年度卒業生進路状況〉

(単位：人)

卒業生数	就農	就職					進学・研修	その他
		農業法人	農業関連企業	農協等	公務員	他産業		
32	8	2	14	1	2	5	0	0

令和7年6月から
Instagramはじめました



AOMORIEIDAI



営大HP



Facebook

営大の“今”を発信中！フォローよろしくお祈いします

営大通信

第56号 令和8年3月25日

発行 青森県営農学校興農会
会長 小川 広徳
青森県営農学校後援会
会長 蝦名 謙司
青森県上北郡七戸町字大沢48-8
TEL 0176-62-3111



畑作園芸課程



畜産課程



果樹課程

令和7年度 卒業式

令和8年
3月7日



卒業生代表の葛西さん

3月7日、令和7年度卒業式を挙行し、畑作園芸課程20名、果樹課程10名、畜産課程2名、合計32名が営農大学校を巣立ちました。

当日は、小谷副知事をはじめ多くの来賓や保護者御臨席のもと、卒業証書ならびに学生表彰の各賞が授与されました。松江校長から、「営農大学校で過ごした日々は、皆さんにとって確かな土台となっています。自らを信じ、「自分にはできる」「地域農業をより良くしたい」という気持ちを大切にしながら、夢と希望を抱き続けてください。」と式辞がありました。

在校生を代表して畑作園芸課程の三上蓮さんからは、先輩方への感謝とこれからの活躍を願う送辞が送られました。また、卒業生を代表して畑作園芸課程の葛西陽奈子さんから、学生生活の思い出や後輩へのエール、就農に向けた決意が力強く語られました。

卒業生一人ひとりが、それぞれの進む道で新たな一歩を踏み出します。本校で培った学びと仲間との絆を力に、さまざまな分野での活躍が期待されます。

各賞受賞者

知事賞	葛西 陽奈子	(畑作園芸課程)
校長賞	東 優希	(畑作園芸課程)
	今 咲良	(果樹課程)
	竹原 真菜	(畜産課程)
功労賞	沼山 愛礼	(畑作園芸課程)
	阿部 風花	(果樹課程)
精励賞	佐藤 玲菜	(畑作園芸課程)
	齋藤 航大	(果樹課程)
皆勤賞	一戸 陸空	(畑作園芸課程)
全国農業大学校協議会長賞	葛西 陽奈子	(畑作園芸課程)
東日本農業大学校等協議会長賞	小塚 大輝	(畑作園芸課程)
	齊藤 心海	(畑作園芸課程)
農業大学校同窓会全国連盟会長賞	蝦名 凜汰朗	(畑作園芸課程)
東日本農業大学校等同窓会連盟会長賞	葛西 陽奈子	(畑作園芸課程)
青森県農業経営士会長賞	葛西 陽奈子	(畑作園芸課程)
興農会長賞	坂本 晃大	(畑作園芸課程)
	今 咲良	(果樹課程)
後援会長賞	小塚 大輝	(畑作園芸課程)
	齋藤 はる芽	(畑作園芸課程)
	成田 龍樹	(果樹課程)
	竹原 真菜	(畜産課程)

校内プロジェクト 発表会・ 意見発表会

令和7年
12月23～24日

令和7年12月23～24日の2日間、プロジェクト発表会・意見発表会を開催しました。2学年は各々が課題を設定し、調査・研究に取り組んだ1年間の学習の成果を図表や写真・動画を使って発表しました。また、1学年の代表学生は農業に対する自らの思いを意見にまとめ発表しました。学生は慣れない資料作成に悪戦苦闘しながら成果を取りまとめ、堂々と発表しました。



各賞受賞者

【プロジェクト発表受賞者一覧】

区分	課程名	氏名	課題名
最優秀賞	畑作園芸	葛西 陽奈子	ミニトマトにおける2本仕立て及び新品種の検討
優 秀 賞	畑作園芸	沼山 愛礼	キャベツ夏まき栽培における欠株防止技術の検討
	果樹	阿部 風花	アブシシン酸液剤の散布によるぶどう「ピオーネ」の果実品質向上
努 力 賞	畑作園芸	小塚 大輝	生分解性ネットによる環境に優しいながいも栽培の検討
	畑作園芸	齊藤 心海	夏秋期いちご栽培における株間が収量や品質に及ぼす影響について
	果樹	今 咲良	おうとうの垣根仕立て樹の生育について（4年生樹）

【意見発表受賞者一覧】

区分	課程名	氏名	課題名
最優秀賞	畑作園芸	田村 凜	フラワーロス削減に向けて
優 秀 賞	畑作園芸	佐藤 駿太郎	祖父の背中
努 力 賞	果樹	立川 明	りんご高密度植わい化栽培を通してスマート化について考える



優秀賞の阿部風花さん

東日本プロジェクト 発表会・意見発表会

令和8年
1月14～15日

岩手県金ヶ崎
町の岩手県立農業
大学校で開催された「東
日本農業大学校等プロジェ
クト発表会・意見発表会」に本
校代表として5名の学生が出場し
ました。

審査の結果、意見発表の部で畑作園芸課程1年田村凜さんが“優秀賞”を受賞し、東日本代表として全国大会への出場を決めました。全国大会への出場は昨年度のプロジェクト発表に続き2年連続となりました。



1年生も堂々と意見発表

全国プロジェクト 発表会・意見発表会

令和8年
2月17～19日



優良賞を受賞した
田村さん



参加学生

東京都の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された「全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会」において、畑作園芸課程1年田村凜さんが「フラワーロス削減に向けて」をテーマに意見発表の部で堂々と発表し、“優良賞”を受賞しました！！

本発表では、フラワーロス（花の廃棄）の現状や課題を整理し、自身が考える解決策や今後の活動、将来の目標について述べました。

また、大会運営補助として参加した1学年3名にとっても参加全国レベルの発表に触れることができ、よい経験となりました。

京都・大阪・神戸をめぐる旅 ～卒業後も困難に立ち向かうと決意～

研修旅行

令和8年
2月2～6日

令和8年2月2～6日、2学年の研修旅行を実施しました。

1～2日目は京都、2～3日目は大阪、4～5日目は神戸と、かなりボリュームのある研修旅行だったため、その様子を抜粋して紹介します。

はじめに、伊丹空港到着後、京都へ移動し、「伏見稲荷大社」を訪れ、それぞれが将来の夢を叶えるための願掛けを行いました。願いを込めて石を持ち、予想より軽ければ願いが叶いやすく、重ければ叶うまでが難しいとされる「おもかる石」にチャレンジした学生もいました。また、「ニンテンドーミュージアム」では、日本文化としても海外に知られる任天堂が創ってきたゲームの歴史を学びました。ここでしか購入できない商品もあり、初日で大きな荷物を抱えることになりました。

大阪では、「株式会社グリーンファーム」にて、高設ベンチに入れた砂と養液で、主に葉物野菜を栽培する「砂栽培」の取組について研修しました。学生からは、「どれくらい費用がかかるのか」、「どのような設備が必要か」などの積極的な質問が出ていました。

神戸では、六甲山の「六甲ガーデンテラス」にて夕景を眺めたほか、バイクや船舶、鉄道車両のメーカーとして知られるカワサキの博物館「カワサキワールド」、阪神・淡路大震災の被災した状態で保存されている「神戸震災メモリアルパーク」などを視察しました。

視察を終えて青森空港に到着後、研修旅行実行部会の蝦名部会長から、「思い出に残る研修旅行で、皆との絆をさらに深めることができた」、「これらの楽しい思い出があれば、卒業後に辛いことがあっても頑張っていけるはずだ」といった挨拶があり、各自の帰路につきました。



集合写真（ニンテンドーミュージアムにて）



伏見稲荷大社のおもかる石



六甲山からの夕景



カワサキワールドで多様な機械を視察



株式会社グリーンファーム
で砂栽培の取組を視察